

埼玉親善大使レポート

氏名：小池里彩子

滞在先：カナダ、ノバスコシア州(10 か月)

○どのように埼玉県を PR したか

私は埼玉の武蔵野うどんと狭山茶をアピールしました。

カナダ滞在中のマーチブレイクに、友人とオタワ旅行へ行きました。そこでの滞在中は、友人の知人が私たちのことを受け入れてくれ、お礼も兼ねて埼玉の地粉が使われた乾麺のうどんを振舞いました。日本食は有名でも、武蔵野うどんの知名度はあまり高いわけでは無い為、初めて挑戦すると興味を持ってくれました。また弾力があってとても美味しいと気に入ってくれたので、お土産にするのはお勧めです。

狭山茶については、より多くの人々の好みに合いそうなラングドシャを持っていきました。私自身も狭山茶が好きで、世界中で人気な抹茶だけではなく、緑茶の魅力を発信したいと思っていました。抹茶が好きな友人には特に好評で、抹茶よりも香りが強く感じられる点が好きだと、会うたびにまた食べたいと言われるほどでした。今回持っていった狭山茶ラングドシャは個包装で場所もあまりとることが無いため、海外でのバラマキ菓子にもピッタリだと思います。



↑現地で振舞ったうどんと日本のカレー

○現地での生活について

ノバスコシア州は想像していたよりもずっとのどかな土地で、時間がゆっくり進んでいくようでした。空気が澄んでいるため星が良く見えたり、運が良いとオーロラも発生したりと自然豊かな場所です。通っていた学校は四学年が在籍する計 1000 人程の、比較的大きな学校でした。一日約 80 分×4 コマの授業展開で、科目は必修を除いて自由に選択することができます。特に印象に残っているのは音楽バンドと英語の授業です。日本で楽器を演奏する授業は滅多にないため、吹奏楽部のような形態で進んでいくのが新鮮でした。12 月にはクリスマスコンサートがあり、地元のローカル放送に出演できたことは良い思い出です。英語の授業では、英語の古典作品を学ぶ機会があり、シェイクスピアのマクベスを勉強しま

埼玉親善大使レポート

氏名：小池里彩子

した。私の知っている英語とはかけ離れた語彙や文法で、最初は苦戦しましたが、友人の助けも借りて何とか学び終えることができました。授業の中で、マクベスの各場面を切り取って、四人ペアでポーズを考え表現するというフリーズ・フレームという活動も行いました。日本と比べて話し合いや自己表現で評価を着けられる授業が多く、積極性が欠かせないなと思いました。

休日は近くのビーチに行ったり、近所に住んでいた友人の家に毎週のように泊まりに行っていました。またノバスコシアの州都であるハリファックスにもバスを使って遊びに行き、ショッピングモールに行ったり、なんとハリファックス近くで沈没したというタイタニック号についての展示もある海洋博物館に行きました。



↑10月下旬に見ることが出来たオーロラ



↑州都のハリファックス、港湾の町でシーフードがとても美味しかった

10か月の滞在を通して、カナダの穏やかな暮らしを日一杯楽しみながら、かけがえのない経験をする事が出来ました。支援して下さいましたGEORGIA様、この度は本当にお世話になりました。ありがとうございました。